

意見交換用紙（令和2年度第2回高松圏域自立支援協議会全体会）

1. 「運営会議委員より全体会会員の皆様へ御意見をいただきたい事柄」に関して、御記入ください。

●高松市総合教育センター

協議会 HP について

- ・全体的に分かりやすくまとまっている。
- ・高松市総合教育センターへ問い合わせがあるのは、児童発達支援・放課後デイサービス事業所のうち、ST や OT が受けられるのはどこか。個別の学習指導が受けられるのはどこか。といった内容である。一覧表に「○」などがあれば分かりやすい。

▶こども部会

ご質問ありがとうございます。ST や OT が受けられる事業所については、協議会の HP 上【職員配置の状況】で公認心理士・作業療法士・言語聴覚士の配置の有無を確認する事は可能です。訓練の具体的な実施内容を掲載している事業所もあります。ちなみに HP 上は作業療法士・理学療法士・言語聴覚士のいずれかが配置されている事業所が7か所。具体的な実施内容に触れている事業所が理学療法で2か所・言語療法で1か所です。

次に個別に学習指導が受けられるかどうかの情報についてですが、HP 上は学習指導を実施していると明記している事業所は見当たりません。恐らく、放課後等デイサービスの基本的役割が、学校（幼稚園及び大学を除く。以下同じ）に就学している障害児に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進、その他の便宜を供与することと、児童福祉法第6条の2の2第4項に規定されており、これに学習指導が含まれていない為だと思えます。ST、OT の件と合わせこども部会の今後の議案にいたします。

●支援センターこがも

- ・災害時プランに関しては、訪問看護が入っている家は訪問看護でもより具体的なプランを作成しているケースが多い。相談支援専門員と訪問看護師が作成しているプランを確認しあっているのか（共有できているのか）と言う所に疑問は残る。
- ・医ケアの方に関しては、今は呼吸器を装着者に関しての介入が主である。（電源が必須なので優先度は高いが）呼吸器は必要としないが医ケアが必須な方や、行動障害のある方等に関しての災害時の避難に関しては、地域の避難場所が第一避難先として果たしているのか？という疑問は残る。

▶事務局

災害時 WG の課題として、全体会会員の皆様へ周知いただきたい事柄として御意見をいただきました。引き続き協議会として話し合っていきたいと思えます。

●地域生活支援センターこだま

事務局の上半期課題の中に児童が使える短期入所不足について触れられていますが、協議会でこの課題解決に向けてアクションを起こす予定はありますか？

▶事務局

先日、相談支援部会と事務局で協議をしました。短期入所不足に限らず、両会議に挙がってきている課題について、それがどんな内容でどこでアクションを起こしていくのが適切かを検討しています。この課題については相談支援部会でお願いしていく方向を確認しています。

●香川県障害福祉相談所

- ・災害時の対応についての協議ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いします。
- ・高松圏域自立支援協議会のホームページについて、部会での協議内容や、障害者支援施設等の情報も検索しやすいです。

▶事務局

ご感想をお寄せいただき有り難うございます。励みになります。引き続き、お気づきの点やご質問など、事務局へお寄せ下さい。

2. 各部会等の活動報告及び計画について、また、事務局の活動報告及び計画について、御意見や御質問があれば御記入ください。

●高松公共職業安定所

<精神保健福祉部会への御質問>就労移行支援事業所でピアカウンセラーの資格取得できる所がある。ピアサポーターの活動普及として具体的にどのような取り組みを現状しているのか、また今後どうあるべきかの意見を聞きたい。

▶ 精神保健福祉部会

これまでも当事者同士の交流やセルフヘルプグループ、インフォーマルなピアサポート活動に加えて、精神障害やメンタルヘルス関連のイベント、福祉教育等における普及啓発、体験発表などについては少ないながらも活動の機会がありました。

一方で、県主催のピアサポーターの養成講座（主に精神障害の方対象）の受講修了者が県内に増えていく中、ピアスタッフや支援者としてのピアサポート活動については限定的であったため、より幅広く活動を推進していくためには、どのような取り組みが必要かと部会内で検討を続けております。

その結果、部会の活動だけではないのですが、これまでの数年間に活動や支援依頼の窓口設置、人材登録や支援依頼とピアサポーターのコーディネート体制整備、ピアサポーター同士や支援者との交流会、ピアサポート活動についての研修会の開催などについて、ピアサポーターの方々と一緒に取り組んできました。現在、部会のWGにおいては、普及啓発のためのパンフレットの作成と配布が主な活動となっております。

最後に、今の段階では明確な答えはありませんが、今後の活動についても、ピアサポーターの方々と共に検討していける場として、部会の中で関係性や立場も醸成していければと考えております。そのため、上記の内容も含めて知っていただきたく、民間のピアカウンセラー資格を個人で取得された方々にも、県主催のピアサポーター養成講座の受講やフォローアップ研修会、交流会への参加をお勧めしております。

●川部みどり園

知的障害者支援部会について

意見ではありませんが、少し前にぜんち共済主催で「親なきあと」に関するオンラインセミナーがあり、『親心の記録』についても紹介されていました。親なき後の話題については、当事者団体・家族会連絡会との連携もあるのでしょうか？

▶当事者団体・家族会連絡会・知的障害者支援部会

これまでは気になりつつも、連携が図れていないのが現状です。今後、双方の検討事項により、部会同士の連携を図っていきたいと考えています。ご意見、ありがとうございました。

3. その他、協議会全体について御意見や御質問があれば御記入ください。

●川部みどり園

HP について

例えば、発達障害部会に「高校生活ガイドブック」のような成果物については、各部会の中から探さなくても、よく他の HP でトップページ、メニューなどから直接出版物などのページへ移動するなど見つけやすいようにし、多くの方がツールとして活用できれば良いと思いました。また、例えば当事者団体・家族会連絡会で話題となっている「コミュニケーションボード」がどういったものであるのかがイメージできなかったのですが、写真や説明を入れるなど、それぞれの部会が当たり前のように使っている言葉がもう少し伝わるような工夫があればありがたいと思いました。

▶事務局

ご意見有り難うございました。ご意見いただいた通り、トップページの「新着情報」に掲載されている間は見つけやすいのですが、次々と新着情報が UP されるとその枠から外れてしまい、上記「高校生活ガイドブック」なら「専門部会など」→「発達障害部会」と進めないという到着できないということになります。

一方で、こども部会が作成した「児童発達支援・放課後デイサービス事業所一覧」を最近アップしたのですが、このページについては QR コード（読み取ってあらかじめ設定したページを、直、開くことができるコード）を作成し、部会内では発信していただいています。今回の「高校生活ガイドブック」のようなひろく活用していただけるものについても、QR コードを作成し発信・共有していただけるように周知・共有していきたいと思います。（ちなみに高校生活ガイドブック裏表紙に QR コードが印刷されていて、ガイドブックをさらにダウンロードしたい希望があ

る方に対応可能な準備はしています。) また、そもそもトップページに、例えば各部会などが作成した「ひろく活用していただけるもの」をわかりやすく見ることができる配置が可能かどうかを業者に問い合わせ中です。

さらに、各部会等の活動内容が伝わりやすくなるよう、部会等の報告で使う言葉や表現も見直していけるように話し合いたいと思います。

【高松圏域自立支援協議会ホームページ画面のQRコード】			
1	部会名	協議会ホームページ	QRコード
	事務局	高松圏域自立支援協議会トップページ	
2	部会名	協議会ホームページ	QRコード
	子ども	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所一覧(高松市・三木町)	
3	部会名	協議会ホームページ	QRコード
	発達障害	高校生活ガイドブック	
4	部会名	協議会ホームページ	QRコード
	就労支援部会	うどん注文お助けボード	